



ホタルイに困ったら

コンバーストフロアコソル

®は登録商標

先制パンチで問題解決!



ピラゾキシフェン

ブロモブチド

テニルクロール

3つの力を一つに集結!



滴下マン対応

水田雑草の初期防除に



ノビエ



ホタルイ



アゼナ



イボクサ



石原バイオサイエンス株式会社

●ピラゾキシフェン…15.0% プロモブチド…10.0% テニクロール…2.0% ●普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

上手な使い方

●使用時期(目安)



田植え

雑草発生前

ワンベスト 散布適期

一発剤・中期剤等

散布直前にボトルをよく振ってからご使用ください。

散布方法(例) ワンベストフロアブルは様々な場面で使用できます。

●手振り散布

- ・拡散性を高めるために、十分な湛水深を保つ(5cm程度)ようにしてください。
- ・巾が45~50mの水田では、畦畔から直接散布できます。



●田植同時(「滴下マン使用」)施用

- ・田植が終わった部分に薬液が滴下されるように施用してください。
- ・施用時に田面が露出している部分では薬剤が直接根部に接触する危険性がありますので、ある程度水があり、拡散する状態で使用してください。
- ・田植終了後は水尻がしっかり止めてあることを確認後、入水してください。

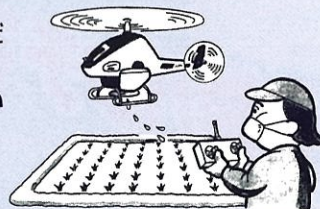


●水口施用

- ・入水が5~6時間以内で完了するような水田で使用できます。

●無人ヘリコプター滴下散布

- ・滴下は使用機種の使用基準に従って実施してください。
- ・滴下に当たっては散布装置のノズルを使用しないでください。



●フロアブル散布機でも使用できます。

適用雑草と使用方法(抜粋)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ	移植直後~ノビエ発生前 ただし 移植後30日まで	壤土~埴土	300~ 500ml	1回	原液湛水散布	北海道
		移植直後~ノビエ1葉期 ただし 移植後30日まで (関東・東山・東海の早期栽培 地帯及び近畿・中国・四国の 砂壤土は 移植直後~ノビエ発生始期 ただし 移植後30日まで)	砂壤土~埴土				全域 (北海道、九州を 除く)の普通期 及び早期栽培地帯
	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ (東北、北陸) ヘラオモダカ (北海道、東北)	移植時	砂壤土~埴土	500ml		田植同時散布機 で施用	全域の普通期 及び早期栽培地帯
移植直後~ノビエ1葉期 ただし 移植後30日まで			原液湛水散布 水口施用又は 無人ヘリコプター による滴下				

⚠ 使用上の注意事項

- 薬剤の性質上保管中に薬液が分離する場合がありますが、性能には問題はありません。
- 使用後は少なくとも3~4日間は通常の湛水状態(水深3~5cm程度)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 苗の植付けが均一となるように代かきをていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えの水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 散布時は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをし衣服を交換してください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し適切に処理してください。洗浄水は圃場等で使用してください。

本印刷物は、令和元年6月時点での知見に基づいて作成しています。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>

取り扱い